



# 地域の声を聴き 現地状況を確認

- 1 「森のこだま館」の隣接地に建設した、森林体験や森林学習の場として利用できる施設
- 2 役場前に設置された電気自動車の急速充電器
- 3 人工芝に整備された総合運動公園グラウンド

担当者から説明を受け、寺畑橋の改良状況を確認する議員

## 地域の要望箇所を調査

### 「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月3日と4日、26年度に完了した事業と27年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（志田悟所長）と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県が行う道路整備事業などについて意見を交わしました。

茶屋場自治会から要望があった、地区内の用水路の未整備箇所を確認したところ「既に改修が済んでいる用水路と未整備箇所を一体的に整備することが望ましい。」との意見が出ました。

### 工事実績と進行の状況

今回の調査では、町道茶屋場田子線や総合運動公園多目的グラウンドなどの大型工事、ふるさと懇談会（議会報告会）で地域から要望があった道路改良箇所などの状況を中心に調査しました。

### 1 日目は、町中心部と江刈方面を調査

遠矢場地区内の橋の幅が狭く、農作業機械の運行に支障があるため、改良を要望する箇所の状況を確認しました。議員からは「橋の欄干を撤去する方法により、橋の拡幅が期待される。地域と協議してはどうか」などの意見がありました。



茶屋場地区の用水路の状況を確認する議員

### 2 日目は、田部、小屋瀬方面を調査

25年度に発生した災害の復旧工事の完成状況などを確認しました。上外川自治会から要望があった、冬期間に上外川トンネル内に水が溜まって凍結する箇所を確認。「改修には多額の経費を要するため、冬期間にトンネル内の水を定期的に破碎する方法などで、車両通行の安全性を確保することが当面の最良策と考える。」などの意見が出されました。

で計画されている、主な事業内容は左の表のとおりです。そのほか、町が要望を行っている城内小路地区の急カーブ箇所の解消に向けて、検討を始める内容の説明がありました。今後も、県と町が情報を共有しながら、連携して進めて行くことを確認しました。

### 《調査を終えて》

調査の結果、概ね順調に町の事業が進捗している状況を確認しました。なお、事業の執行に当たっては計画どおりに進め、最大限の事業効果を出せるように進行管理を徹底することを、町に伝えました。

### 県工事の内容 本年度計画は

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業内容を説明しました。本町

### 《27年度県事業の主な内容》

27年5月末現在の計画

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	四日市地区の道路改良工事（L=320m）	25～27年度
	城内小路地区の急カーブ解消の検討	27年度
	茶屋場田子線2期工区、大橋工区の設計委託支援	27年度
砂防事業	又ナヤ沢砂防事業（ダム1基）	24～28年度
	市部内の沢砂防事業（ダム2基）	21～28年度
	馬淵の沢砂防事業（ダム1基）	22～27年度



プラトールで開催された県との情報交換会